

景 報

美學會讀書會

一月二十三日土曜、午後六時半より樂友會館にて

カントの崇高の分析論について

山野敏 三君

美學茶話會

一月二十九日金曜、午後三時半樂友會館にて張源祥君送別會
を催す。

美學會

二月三日木曜、午後七時樂友會館にて

藥について

奥村伊九良君

美學讀書會

二月十日水曜、午後二時樂友會館にて

美的判斷力批判の課題

井島勉君

美學會豫餞會

二月十日水曜、午後六時半森本燕廬にて

教育研究會

同一月二十六日火曜、學生集會所にて午後六時半より左の講演あり。

細井平洲の人物とその教育思想

後藤三郎君

教育學讀書會

同一月二十六日火曜、午後一時半より教育學研究室に於て左の發表あり。

ヘスタロツチーに於ける人生について 西元宗 助君

同一月三十日土曜、午前十時より同室に於て左の發表あり

社會的教育學研究 永山 信君

寺院の教育 森澤四郎君

同二月一日日曜、午後一時より同室にて左の發表あり。

教育の根底としての人間性の理解 三谷久 男君

同二月二日火曜、午後一時より同室にて左の發表あり。

公民教育について 吉田正 元君

ヘスタロツチー教育思想の基礎 鱒坂二夫君

教育學の科學的の性格 有田健一君

倫理學讀書會

同一月二十九日金曜、午後一時より倫理學研究室に於て左の發表あり。

フイヒテの道徳論
カント倫理學に於ける理性と感性との關係
蓮見義倫君

金澤初太郎君

倫理研究會例會

同二月十三日土曜、午後六時より樂友會館にて左の講演あり。

社會意識の實在性について

廣瀨文豪君

心理學讀書會

同一月二十九日金曜、午後三時半より心理學研究室にて左の發表あり。

光のリズムについての一研究
中山覺君

性格の構造並にその研究方法の一試案（特に用しやばりに就いて）
原直一君

同二月五日金曜、午後三時半より同室にて左の發表あり。
Piagetの子供の世界觀について
藤澤成太君

童話と童話的想像
福江篤彦君

同二月十二日金曜、午後三時半より同室にて左の發表あり。
感情と嗜好について
山名遠君

精神病學に於ける錯覺と幻覺について
吉見恒雄君

精神作業の一研究
若岡隆夫君

哲學研究會特別講演

去る一月三十一日より二月十三日まで毎週土曜午後一時半より經濟學部第九教室に於て、本學名譽教授西田幾多郎博士の特別講演あり。

哲學研究會

同二月六日土曜、午後六時半より學生集會所に於て左の發表あり。
意識について
伊達四郎君

印哲佛教學會

同二月三日水曜、午後六時半より樂友會館にて左の講演あり。
陳那の轉識論は三十頌の異譯か
林彦明師

社會學讀書會

同二月五日金曜午後六時より樂友會館にて左の發表あり。
マックス・ウェーバーの社會行動について
山添喜信君

ハンス・フライヤーの文化の典型と段階について
野一色利衛君

寄贈圖書

ラスキン著國家論 植田清次譯

東京市 理想社出版部刊 定價壹圓貳拾錢

カント著宗教哲學 安倍能成譯(カント著作集5)

東京市 岩波書店刊 定價參圓貳拾錢

井上先生喜壽記念文集 異軒會編

東京市 富山房刊 定價四圓五拾錢

楊墨異端の教 安岡正篤著 (金鵝文叢十七)

東京市 金鵝學院刊 定價貳拾錢

寄贈雜誌

哲學雜誌 昭和七年二月號 五四〇號

學藝論叢 同 六年十二月號 二號

哲學改造 同 七年二月號 五號

教育問題研究 同 二月號 六八號

學校教育 同 二月號 二二五號

丁酉倫理會議演集 同 二月號 三五二號

生理學研究 同 二月號 九卷二號

奈良縣教育 同 二月號 二二六號

大 東 同 六年十一月號二六卷一〇號

關西大學々報 同 七年二月號 九六號

大谷學報 同 六年十二月號 一二卷四號

倫理研究 同 七年二月號 一八號

信濃教育 同 二月號 五四四號